

こんにちは！
地域おこし協力隊です！



地域おこし協力隊とは、地域活動に意欲がある人に都市部から移住してもらい、地域の課題解決に取り組んでもらう制度のことです。
現在、本市で活動している協力隊員は2人。令和4年10月から活動している原田翔太さんと、今年4月から活動をスタートした藤田真奈さんです。
2人は、それぞれがこれまで経験したことを生かした「地域おこし」に挑戦し、少しずつそれぞれの形で舞鶴の未来を作ろうとしています。
《ふるさと応援課》

地域おこし協力隊 since 2022

原田さん 活動の歩み

広島県出身の原田翔太さん。京都大学農学部を卒業後、大手自動車メーカーで車体設計に携わっていましたが、長女誕生をきっかけに、妻の実家のある京都府北部に移住を検討し、舞鶴に移住を決定。令和4年10月に隊員に就任しました。

めてきました。
今月で活動開始から1年半が経ちました。隊員の任期は最長3年のため、折り返しを迎えたことになりました。「地域の皆さんに応援してもらえたおかげで、ここまです。」と話す原田さんに、これまでの活動の歩みを振り返ってもらいました。



2023.3

移住者交流会を開催。

市外から移住した人同士で親睦を深め、地域とのつながりを持ってもらおうと、移住者同士の交流会を企画。年齢や体力の差にかかわらず楽しめるスポーツや、ボードゲームの大会を開催。子育て世代も多く参加し、大いに盛り上がりました。

2023

2022.10

地域おこし協力隊に就任。

長女の誕生をきっかけに「人とのつながりが深い場所で子育てをしたい」と舞鶴市へ移住。イベントに参加したり、あいさつ回りをしたりして皆さんからニーズを聞き出すなか、舞鶴市で取り組むべき課題が見えてきました。

2022

2022.12

高校で授業に参加。

「学生と一緒に何か活動したい」と、市内の高校へ相談したところ「総合的な探究の時間」への参加を提案してもらいました。海洋プラスチック問題について考えたり、一緒にカフェを開いたりして、中学・高校生らと交流を深めています。現在は市内5校を、各校週1回のペースで回っています。

